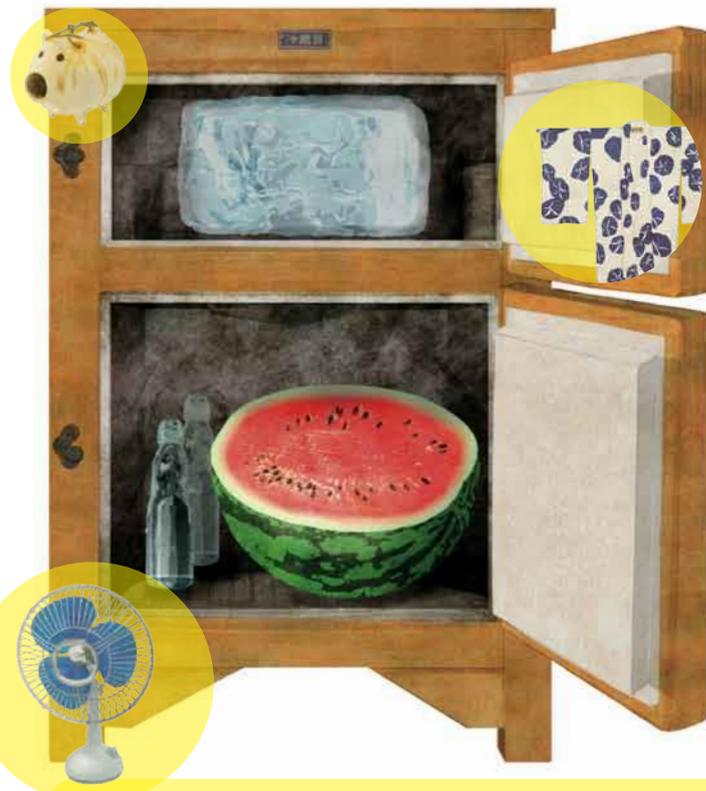


川崎市市民ミュージアム 展覧会のお知らせ 「昔のくらしと道具 2016」

～日常生活で使う衣・食・住に関する道具から、くらしの変遷を見ていきます～



写真上より
洗濯機
体験コーナーの様子（足踏みミシンなど）
昭和30年代の茶の間（復元）



- 会 期：8月6日（土）～10月16日（日）
- 会 場：川崎市市民ミュージアム
企画展示室 2
- 開館時間：9：30～17：00
（入館は16：30まで）
- 休 館 日：毎週月曜日（9月19日、10月10日は
開館）、8月12日（金）、9月20日（火）、
23日（金）、10月11日（火）
- 観 覧 料：無料
- 主 催：川崎市市民ミュージアム

【関連イベント】

ベビーカーツアー

ベビーカーでも安心して鑑賞できる学芸員の展示解説付きのツアー

日時：10月6日（木）11：30～12：30

【学芸員による展示解説】

8月6日（土）、13日（土）、20日（土）、27日（土）、
9月3日（土）、10日（土）、17日（土）、24日（土）、
10月1日（土）、8日（土）、15日（土）

※毎週土曜日開催。各回とも13：30～（約30分）

本展は、小学校3・4年生の社会科のカリキュラムにある「昔の道具と人びとのくらし」をテーマとした展覧会で、日常生活で使う衣・食・住に関する道具から、くらしの移り変わりを紹介します。

今回の特集展示では「わが家に“家電”がやってきた」と題して、昭和30～40年代の電化製品や当時のカタログ類を展示します。

さらに、昭和30年代の茶の間や囲炉裏を再現したコーナーや、つるべ井戸、黒電話、石臼、足踏みミシン、昔のおもちゃなどの体験コーナーもあり、大人から子供まで楽しめる展覧会となっています。夏休みの宿題に利用できるワークシートも会場で配布します。